



たんぽぽだより



令和2年7月号 No.60
 砂川市病児・病後児保育施設
 Tel 0125-54-2278

病児・病後児保育施設の様子



今月は『アデノウイルス』『急性上気道炎』などでの利用がありました。



玄関壁面『トイストーリー』



暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。熱中症は体温が上がり、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、頭痛、けいれん、などさまざまな症状を起こす病気です。のどがかわかなくてもこまめに水分補給し、体調管理に気をつけましょう。子どもは体から出ていく水分が多く、自分自身で気づきにくいので、まわりの大人が十分に配慮していきましょうね。今月も、しっかり食事を取り、早寝早起きを心がけ、手洗い・うがいを丁寧に、元気に過ごしましょう。

夏に多い感染症

夏には高温多湿を好むウイルスが活発化し、夏特有の感染症として流行します。楽しい夏ですが体力の消耗の激しい時期でもありますので十分気をつけましょう！

ヘルパンギーナ

- 原因** → コクサッキーウイルスA群などに飛沫感染することで発症。
- 症状** → 高熱、のどの痛みが特徴。のどに水ほうや潰瘍（かいよう）ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなるほどに。
- 対応** → のどの痛みは、熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは、安静に過ごすように。



咽頭結膜熱（プール熱）

- 原因** → アデノウイルスによる飛沫感染。目やにや便からうつることも。プールの水を介して感染することがあるので、「プール熱」と呼ばれる。
- 症状** → 39℃以上の発熱とのどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状が出るのが特徴。
- 対応** → 感染したら、症状がなくなってから2日経過するまでは登園停止。自宅で安静に過ごすように。



手足口病

- 原因** → コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。
- 症状** → 手のひらや足の裏、口の中に小さな水ほうや赤い発しんができ、熱が出ることも。
- 対応** → 3～5日で治る。元気があれば登園できるが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う発熱が3日以上続くときは、すぐに受診を。



とびひ

- 原因** → 虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌などが感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。
- 症状** → 皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することも。
- 対応** → 主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールは避ける。シャワーを浴びる程度ならOK。